

中央区

平成23年（2011年）11月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第2号

1. 平成23年度（2011年）第2回まちづくり会議の概要

2回目のまちづくり会議は、8月2日に開催され、『自助・共助のすすめ！～大震災の教訓を生かす～』と題して、日本技術士会北海道本部の防災委員会副委員長でもある中央区土木部の城戸部長が講演を行いました。

講演では、阪神・淡路大震災以降に行われた研究事例に基づき、災害から自分や家族の身を守る「自助」と、近隣の住民同士が助け合う「共助」について触れ、**住民主体の防災活動**の重要性・必要性について、研究成果を交えて説明がありました。

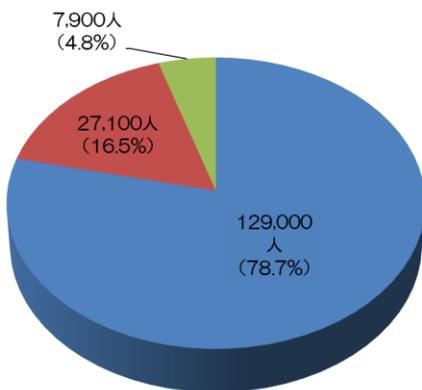


第2回会議（H23-8-2）
会場:札幌プリンスホテル

～阪神・淡路大震災の教訓～

自助・共助・公助の割合は、7:2:1

阪神・淡路大震災時の被救助者数(概算)



※表は家屋に閉じ込められた者の救助内訳

左表の通り、災害時に消防等が人命救出（公助）できた割合は低く、**自助・共助**による災害対策が主軸となる。

7 自助

〈日頃の備え〉

- ・災害用備蓄品の確保
- ・家具の固定
- ・冬季災害時の準備
- ・家族防災会議
- ・住宅の耐震化・・・など

2 共助

- ・近所の人々の安全確認と負傷者への応急手当
- ・閉じ込められた人の救助・通報
- ・避難所運営への協力・・・など

1 公助

- ・消防署等による人命救助・消火活動
- ・災害対策本部及び避難所の設置・・・など

◆意見交換～第2回会議では、次のような意見交換が行われました (抜粋)

◆もし、東日本大震災のように二十数mの津波が石狩湾に押し寄せた場合、どのくらい札幌市内に押し寄せてくるのか?

■石狩湾から新川に津波が遡上することを想定しているが、津波がどのくらいの規模になるかは、これから専門家が入って検討の予定。

◆私の地区は豊平川に非常に近いのだが、地震や何かの原因で豊平川の堤防が崩れた場合を想定しているか?

■堤防が崩れた場合は、都心部の浸水が起こり得るという検討結果があるが、幌平橋の架替に合わせ付近堤防を2m高くする等の対策を実施済みである。

2. 平成23年度中央区防災訓練の実施結果

第2回会議で実施概要の説明が行われた「平成23年度中央区防災訓練」は、中央区役所・二条小学校を会場として、平成23年8月31日(水)に、各町内会や消防団、札幌市赤十字奉仕団、中央区災害防止協力会など、127団体(参加数933人)の参加を得て実施されました。

訓練は、例年行っている内容のほか、今回は東日本大震災の発生を教訓として、新たに「避難所展示コーナー」を設け、避難場所スペースのモデルを展示しました。

また、次年度以降は内容の工夫と共に、より多くの区民の皆さんが身近な場所で防災訓練に参加できるように、区内を大きく4ブロックに分けて、毎年交代で実施することを検討中です。



区災害対策本部設置訓練



倒壊家屋からの救出訓練



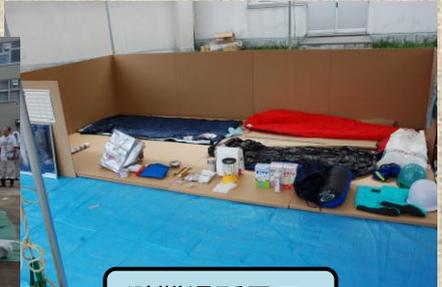
土のう作り訓練



消火バケツリレー



煙道通過訓練



避難場所展示

〈発行〉 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-231-2400 内線212 FAX011-261-2991